

# 一般質問発言通告要旨

(令和7年三島市議会11月定例会)

発言順位	発言者	発言要旨	備考
1	秋山 恭亮	1 三島市のぎわい創出について 2 災害時の医療体制について	12/5 (金)
2	土屋 利絵	1 ごみ処理施設からの未来づくりに向けて	
3	本間 雄次郎	1 三島駅南口東街区再開発事業 2 新庁舎整備事業	
4	岡田 美喜子	1 庁外業務の効率化と連絡体制の強化について 2 地域包括支援センターの相談体制と処遇改善について 3 子どものスポーツ環境の確保に向けた地域支援体制の構築について	
5	高田 康子	1 災害時のトイレトレーラー等の導入について 2 中学生みらいミーティングでの学校給食への意見について	
6	古長谷 稔	1 ウェルビーイング指標導入の意義と今後のビジョン 2 長伏公園を核とした子育て・スポーツ・自然体験等の連携について	
7	石井 真人	1 本市のリスクマネジメントの体制について 2 南二日町広場の防災性と建設地の妥当性について 3 三島駅南口東街区再開発の子育て機能について	12/8 (月)
8	村田 耕一	1 生活支援対策 2 ふるさと納税 3 官民連携	
9	沈 久美	1 令和7年三島大祭りの振り返りと今後について 2 空き家の適正管理と発生予防を進めるための仕組みづくり	
10	河野 月江	1 国民健康保険－すべての加入者の受療権を守りぬくことを求めて 2 三島駅南口東街区再開発事業について 3 有機資材（堆肥）活用の循環型農業で野菜園芸を支える酪農家への支援充実を	
11	横山 雅人	1 市営墓地について 2 長伏公園大型遊具の供用に向けて	12/9 (火)
12	弓場 重明	1 新市庁舎建設予定地について 2 地縁団体である自治会・町内会（以下自治会といふ）等について 3 道路交通法の各種表示について	
13	永田 裕二	1 人材戦略としての兼業・副業について 2 職員の被服改革 3 伝統文化としての「しゃぎり」への理解促進策	
14	服部 正平	1 政府における総合経済対策を受けての当市の対応について 2 市が拠出する補助金の運用について	12/10 (水)
15	甲斐 幸博	1 地域の公共交通を取り巻く現状と課題について 2 高齢者支援について 3 小中学生不登校について	
16	野村 諒子	1 過去の取り組み事例から学ぶ、失敗しないための中心市街地活性化とは 2 「菊のまち三島」を観光の目玉にできないか	

# 一般質問発言通告書

発言順位 1番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年11月26日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 1番 秋山 恭亮

## 質問事項1 三島市のにぎわい創出について

具体的な内容 三島市では、まちなか施策やまちづくり、イベント事業など様々な場面で「にぎわい」という言葉が使われているが、市として統一的な定義が示されておらず、市民や行政内部で共通理解が十分ではないと感じている。施策目的を明確化し、データや客観的な根拠に基づいた政策の立案・実行をするという観点（EBPM）から、重要業績評価指標（KPI）設定を可能にするためにも、にぎわいの定義と段階整理が必要であると考える。さらに、近年注目されているキッチンカー施策や、駅前拠点である楽寿園の課題と併せ、三島市としての総合的なにぎわい創出の考え方を伺う。

- 1 市としてにぎわいをどのように定義しているか。施策設計やEBPMの観点から段階整理を行い整理することにより分かりやすくなると考える。現状及び今後の検討を伺う。
- 2 にぎわい創出としてキッチンカーを活用した施策が全国で注目されている。三島市においての位置づけ、公用地等での出店時の窓口、キッチンカーの仕様規制、安全基準等を伺う。
- 3 キッチンカーとの共創の仕組みを広げ、三島市の施策やまちづくりに生かしていくためには一元化した窓口や政策立案を提案する。検討しうるか伺う。
- 4 楽寿園の来年度の無料入場券の配布方針、対象者の扱い、身分証明書提示の取り扱い、発信内容について伺う。
- 5 楽寿園の施設更新（舞台・遊具・楽寿館）の必要性、今後の見通し、全体の中長期的な維持管理と財政負担の見通しをどのように捉えているか伺う。

## 質問事項2 災害時の医療体制について

具体的な内容 令和7年9月の広報みしまにて、「これまで市内に19カ所と分散していた救護所および救護医院を、救護所5カ所に再編（原文まま）」する方針が示された。医療人材・資源の集約という考えは理解できる一方、市民が「どこに・どうやって・誰を連れて行けばよいのか」が明確でない状況が続いている。特に、搬送ルート、受入基準、トリアージの限界、自主防災の訓練内容など、市民行動に直結する情報が不足していると感じている。災害時の混乱を避けるためにも、以下について伺う。

- 1 救護所を再編したこととなった経緯と役割分担の明確化について伺う。
- 2 救護所における医師・看護師・歯科医師の配置と役割について伺う。
- 3 救護病院・救護所の備蓄・資機材・ライフラインの整備状況についてそれぞれ伺う。
- 4 三島市と医療機関との協定・連携体制について伺う。
- 5 市民によるトリアージと判断の限界、相談体制の構築について伺う。
- 6 傷病者の搬送手段・搬送ルートの明示について伺う。
- 7 自主防災組織の訓練内容、特に救護所搬送・引き継ぎ方法の確立について伺う。
- 8 市民が混乱せず行動できるよう、軽易な傷病者・救護所・救護病院の役割分担、搬送ルート、搬送手段などを一体として分かりやすく示す広報の強化について伺う。

# 一般質問発言通告書

発言順位 2番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年11月26日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 17番 土屋 利絵

質問事項1	ごみ処理施設からの未来づくりに向けて
具体的な内容	国連気候変動会議が、今年11月10日にブラジルで開催されました。気候変動の悪影響が止まらない中、今年も世界で猛暑や激しい気象災害が発生、採択から10年になる温暖化対策の国際ルール「パリ協定」が掲げる産業革命前からの世界の平均気温上昇を1.5度に抑える目標も守られてないことが確実どころか、それ以上になるといいます。世界全体では、30年間の気象災害、猛暑やハリケーン、干ばつなどによる死者は83万人。被災者は洪水で約27億人。干ばつで約18億人。直接的な経済損失は約700兆円。猛暑の影響でおよそ1分に一人がどこかで命を落としていることになるとのこと。世界では、暑さに関わる死者は毎年およそ54万7千人。90年代から2.4倍に増えています。気候変動を悪化させる化石燃料から脱却していくために、日本では温室効果ガスの排出量を、2013年から2030年までに46%の削減をうたっています。三島市の事務事業から出る温室効果ガスは29,050トンで、そのうち電気の使用と廃プラスチックの焼却が全体の半分を占めています。今回は、その主な発生源となっているごみ処理について、今検討されているごみ処理の広域化を含めながら伺います。
1	温室効果ガスの削減に向けて、一般廃棄物の焼却量削減とごみのリサイクル率の向上に向けての進捗状況について伺う。
2	現在の三島市の一人一日当たりのごみ排出量、リサイクル率の県内比較と課題について伺う。
3	ごみ処理広域化の進捗状況について (1) 2032年の新ごみ処理施設建設に向けて、三島市のごみ処理量の目標について (2) 他市町の広域化に向けた姿勢について (3) 公募する土地の面積について (4) 熱海市が挙げた候補地の敷地面積と最終処分場について (5) 中継施設について
4	現在の三島市の第3最終処分場埋め立て地の残量と、第4最終処分場建設に今までかかった費用とこれからかかる費用について
5	この枠組みと平行して、三島市単独、または、違う枠組みで考えていく必要性について
6	焼却以外のごみ処理施設の検討について (1) トンネルコンポストの可能性と課題について (2) 焼却から脱却した場合の地球温暖化への影響について (3) 三島市版バイオマスタウン構想について

# 一般質問発言通告書

発言順位 3番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年 11月 26日  
三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 6番 本間 雄次郎

質問事項1 三島駅南口東街区再開発事業

具体的な内容

まさに青天井。私は何度も申しているが、やはり「もうどうにも止まらない」この再開発事業。

ここにきてまたまた予算増額。当初209億円が今や287億円となった総事業費。しかし、着工もされ、もう止まるわけにもいかず、業者は税金をあてにし続ける。

「にぎわいのために」「市民の皆さまの30年越しの悲願」と絶叫していた市長。本当の目的は市長だけが知るわけだが、いずれにせよ市民の大切な税金が、無限に投入され続けるこの再開発事業を市長は「止めるなら私を殺してからにして」と言っていたのも決して忘れてはならない。市長が市民の税金をいくら使ってでも決死の覚悟でこの再開発事業を遂行しなければならない理由はなんなのであろう。

- 現在示されている市の補助金総額と駐車場負担金の総額は。また、それらが今後増える可能性は。
- 立体駐車場の建設費、維持費、管理費等の費用負担はいくらか。
- 補助金以外に考えられる三島市の負担増加は。
- 令和2年に土地開発公社から2,906坪の土地を約24億円(坪82万円)で取得しているが、今回の権利交換計画では該当部分2,091坪の土地を約11億円(坪53万円)で評価受託している。明らかに市の損が生じていると思うが、見解は。

質問事項2 新庁舎整備事業

具体的な内容

100億円の市役所建設を誰が望むだろう。80年後?人口はどうだろうか。今の3分の1ほどになっていることは誰もが想像できる。そのとき100億円で建てたお荷物を誰が喜ぶだろうか。

私も市民の方から「市民スペースが欲しい」「今の市役所は狭すぎる」「職員も働きづらそう」と伺うときはある。どれもお金をかけなければ大抵解決できる問題であろう。

しかし、すべての原資は「市民の税金」であることを忘れてないか。市民が望むから、これをやれば今の困りごとが解決するから...となんでもかんでも市民の税金を使って、解決してあげたような顔をする政治家に私はなりたくない。100億円で建てて、維持費に300億円かかる計画は場所の問題ではないことを私は改めて強く訴える。

- 再開発事業での立体駐車場に比べ、今回の北田町での建替え案で計画された立体駐車場はなぜ建設単価が3倍ほどで見積もらられているのか。おかしいと思わないか。
- 「市役所の場所を私は動かさない」と言った市長の発言の真意は。
- 新庁舎整備にかかる費用の基金充当額と起債額などの資金計画の内訳は。
- 80年後に残そうとしている100億円のハコモノを未来の市民に負担を背負わせる認識はあるか。

# 一般質問発言通告書

発言順位 4番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年11月26日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 22番 岡田 美喜子

## 質問事項1 庁外業務の効率化と連絡体制の強化について

具体的な内容 市役所職員が府外で市民対応や現場業務、災害対応などを行う際、迅速な連絡体制の確保が求められる。近年、多くの自治体においては、職員の業務効率化や迅速な連絡体制の構築を目的に府用携帯電話やスマートフォンの導入が進んでいる。三島市においては、府内携帯電話の配備が限られ、私用端末を業務連絡用に使用せざるを得ないケースもあると聞く。

本市においても、業務の効率化とリスク管理の両面から、府用携帯電話の導入を検討すべきと考える。

- 1 本市における府用携帯電話の配備状況と府外業務・災害対応における課題について
- 2 先進事例の把握及び本市での導入に向けた検討状況について
- 3 導入に向けた方向性について

## 質問事項2 地域包括支援センターの相談体制と処遇改善について

具体的な内容 地域包括支援センターは、高齢者や家族の身近な相談窓口として重要な役割を担っている。しかし、近年、認知症、虐待、8050問題など、相談が複雑多様化し、職員の負担が増大している。また、人材確保や処遇改善も課題である。国ではセンター機能強化や人材確保施策を進めており、県においても研修支援が拡充されている。三島市としても、こうした動向を踏まえた相談体制の強化を検討すべきと考える。

- 1 地域包括支援センターの現行の相談体制と課題の認識について
- 2 人員体制の充実と専門職確保について
- 3 職員の処遇改善と人材育成について
- 4 困難ケースの集中管理と支援体制について

## 質問事項3 子どものスポーツ環境の確保に向けた地域支援体制の構築について

具体的な内容 国では、地域の総合型クラブや少年団などを活用し、子どもたちが楽しさを感じて体を動かす機会を増やすなど、学校・地域における子どものスポーツ活動機会の充実を掲げている。地域のスポーツ・文化活動を支えてきた少年団が全国的に減少し、中学校においては部活動の地域移行が進められているが、部活動への参加率が減少傾向にあり存続が課題となっている。子どもたちが、将来にわたって等しくスポーツに触れられる環境を作るために、少年団の存続、指導員の確保、市全体のスポーツ環境の底上げが必要である。

三島市として、地域のスポーツ・文化活動の持続に向けた方向性を伺う。

- 1 スポーツ機会の格差把握と、誰もが参加できる環境づくりについて
- 2 中学校部活動の現状と課題の認識、今後の方向性について
- 3 少年団の現状と課題認識について
- 4 指導者不足に対する市独自の支援策について

# 一般質問発言通告書

発言順位 5番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年11月26日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 15番 高田 康子

質問事項1 災害時のトイレトレーラー等の導入について

具体的な内容

国が令和7年3月に公表した南海トラフ巨大地震の新たな被害想定において、静岡県は甚大な被害が見込まれる地域と位置づけられています。静岡県の最大震度は6強、地域によっては液状化や家屋倒壊、想定死者数は約10万3千人と試算され、県内の災害リスクが従来想定よりも高まったことは、周知の事実だと思います。10万3千人は三島市の人口とほぼ同じです。建物被害はおよそ、69万棟とも言われています。その数値は前回の被害想定より、大幅に増加しており、被害の深刻さが改めて明らかになりました。

- 1 三島市の現状、避難所・備蓄トイレ等災害用トイレの備蓄の数、マンホールトイレなどの数と、準備にかかる日数、一基当たり何人を想定しているのか。
- 2 三島市としてトイレトレーラーやトイレトラックの必要性についてどのように認識しているのか。
- 3 三島市として、トイレトレーラー、トイレトラックの導入を検討する考えはあるか。
- 4 三島市はたすけあいジャパンを知っているか。また、このたすけあいジャパンの「災害派遣ネットワーク」への、加盟を検討されたことはあるか。ないとしたらその理由は何か。
- 5 このような現状を、三島市はどのように受け止めているのか。

質問事項2 中学生みらいミーティングでの学校給食への意見について

具体的な内容

三島市議会の初めての試みとして「中学生みらいミーティング」を開催いたしました。参加してくれた9人の中学生は、議場での説明を受けた後、グループに分かれてワークショップを行い、日頃感じていることを率直かつ真剣に話し合ってくれました。

いろいろな課題を提案してくれましたが、その中で「学校給食」について多くの意見が出されました。とりわけ、給食の食べ残し（残渣）に関する課題意識が強く示されました。

- 1 本市の小学校・中学校における給食の残渣率は、現在どのような状況になっているか。
- 2 給食で自由に使用できる“ふりかけ”を提供することは可能か。また、児童生徒が自宅からふりかけを持参することを認めることは検討できないか。

# 一般質問発言通告書

発言順位 6番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年 11月 26日  
三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 14番 古長谷 稔

質問事項1	ウェルビーイング指標導入の意義と今後のビジョン
具体的な内容	三島市では現在、第5次総合計画後期計画の策定が進んでおり、その中で「ウェルビーイング指標の活用」が明記されている。これは、市がウェルビーイング指標を政策の根幹に位置づけ、国に先行して市民の幸福度を可視化する仕組みを導入する方針を打ち出したものと理解する。ウェルビーイングとは「身体的・精神的・社会的に良好で満たされた状態」と定義され、市としても令和5年12月に「めざせ！ウェルビーイング宣言」を掲げ、多様な取り組みを展開してきた経緯がある。従来の行政評価が事業実績や数値などの客観的指標を中心としてきた一方で、今後は幸福感や生活の質、満足度といった主観的指標を取り入れた新たな評価軸への転換点と捉えることもできる。市民の声とデータを統合し、政策成果を見える化することによって、市政への信頼と共創の基盤づくりをどう進めていく考えか、以下、伺う。
1	ウェルビーイング指標導入への取り組みの経緯と目的
2	指標の構成とデータ収集の方法、調査に基づいた具体的な結果とその分析
3	総合計画における重点プロジェクトなど政策や行政評価への反映
4	市民アンケートの精度向上と継続実施の体制について
5	市民共創に向けた普及啓発、地域協働ウェルビーイング活動の実効性向上について
6	今後どのように分析を強化し、政策形成に反映していくのか
質問事項2	長伏公園を核とした子育て・スポーツ・自然体験等の連携について
具体的な内容	長伏公園の第1期となる大型遊具の整備が完了すれば、園内外の人の流れが大きく変化することが見込まれる。これを踏まえ、第2期では、空調が整った全天候型施設の導入を視野に入れた検討をぜひ進めていただきたい。多様な目的で訪れる人々にとって、天候に左右されず快適に過ごせる空間の存在は、三世代が安心して憩える環境づくりにも直結する。また、この周辺では長伏グラウンドの改修や松毛川の環境整備が同時並行で進められており、将来、(仮称)狩野川新橋が完成すれば、対岸の狩野川サイクリングロードなどとの連携も視野に入ってくる。子育て世代の憩いの場としてはもちろん、スポーツの練習や大会開催の場、自然観察や体験活動の場として、多目的に人が集い交流できる立地条件が整つたとも言える。
	このエリアは三島市だけにとどまらず、隣接する清水町や対岸の沼津市を含めた県東部全域から人が訪れる可能性を秘めており、広域的な子育て・スポーツ・自然体験が連動する新たな拠点へ発展させる好機と考える。以下、三島市としての、この一帯の連携方針と具体的な整備の考え方について伺う。
1	空調の整った全天候型施設の必要性と検討状況
2	パークPFIなど民間活力を活用した持続的運営モデルの導入可能性
3	水害想定、軟弱地盤条件等への技術的対応について
4	長伏公園を核とした子育て・スポーツ・自然体験等の連携の可能性について

# 一般質問発言通告書

発言順位 7番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年 11月 26日

三島市議会議長 堀江和雄様

三島市議会議員 7番 石井真人

質問事項1	本市のリスクマネジメントの体制について
具体的な内容	10月7日に本市のふるさと納税返礼品に対し薬機法違反の通報があり、掲載内容について指摘があった。また、10月28日には小中学校と幼稚園や保育園を襲撃するといった爆破予告のメールが届いたことなどから、本市のリスクマネジメント体制について以下に伺う。
1	ふるさと納税返礼品における薬機法違反の指摘への対応と対策について (1) 返礼品掲載において薬機法違反の指摘を受けた件について、審査体制・事業者への事前チェック体制の課題をどのように認識しているか。 (2) 今後の再発防止に向け、リーガルチェックや、掲載審査基準の見直しや審査体制強化再委託の状況と再委託先の情報管理体制などをどのように進めるのか。
2	爆破予告事案の初動対応と改善策について (1) 爆破予告事案における本市の初動対応の妥当性についてどのように総括しているか。 (2) 再発防止に向け、各施設への情報伝達体制の改善、危機管理マニュアルの見直し、警察・消防との連携強化など、市としてどのような具体策を講じるのか。
質問事項2	南二日町広場の防災性と建設地の妥当性について
具体的な内容	新庁舎建設候補地の南二日町広場について、災害対策本部設置に伴う、災害時の職員参集及び災害時の出動などについて建設地としての妥当性を以下に伺う。
1	洪水ハザードマップによると、南二日町広場は、4時間～6.8時間の浸水継続時間が想定されており、この間、職員参集が困難になるリスクに対し、浸水により災害対策本部の立ち上げ及び災害対応車両の出動が遅れるリスクが発生する可能性がある。 浸水時による夜間時の参集や国道1号線の交通事故による通行不可時など、市はどのような参集体制を考えているか。浸水時の交通アクセス方法や災害対策本部機能の分散など、具体的な検討状況を伺う。
2	南海トラフ地震の第5次地震被害想定改訂により、南二日町広場においても液状化の発生リスクに変化が生じる可能性があるが、現時点での評価と新庁舎建設地選定への影響をどのように捉えているか。液状化の発生リスクがあると判断された場合の対応策は。
質問事項3	三島駅南口東街区再開発の子育て機能について
具体的な内容	11月13日の民間保育園園長会と議員との懇談会の場で、再開発区域B棟における保育施設について、市の提案に対して再検討してほしい旨の話があった。そこで以下に伺う。
1	再開発区域及び定期借地区域のフロアの決定状況は。物価高の影響はどうか。
2	再開発区域B棟3階の保育施設については、「小規模保育園ではなく、子ども送迎ステーションの設置を」との民間保育園園長会からの提案に対して、市としてどのように受け止め、その後の検討状況はどうか。
3	日中活用として本町子育て支援センターを再開発区域に移設することへの市の見解は。その際、公共床（子育て支援施設や図書館など）を取得することの考え方と可能性は。
4	子育て支援センター移設後、本町タワーに社会福祉社会館の機能を配置することで、新庁舎への機能集約を避け、規模を縮減しコストを抑えるという選択肢もあると考えるが、社会福祉社会館の再配置の可能性と新庁舎のコンパクト化についての本市の考え方。

# 一般質問発言通告書

発言順位 8番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年 11月 26日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 3番 村田 耕一

## 質問事項1 生活支援対策

具体的な内容 消費者物価指数において、2025年10月の総合指数(2020年を100として)は112.1と、前年同月比3.0%の上昇となり、プラスは50か月連続となっている。一方賃金において、2025年中では1人平均賃金改定率は4.4%となり賃上げの方向にあるが、賃上げの恩恵がない年金受給者の年金額は前年比1.9%の引き上げで3年連続の増額改定だが、上げ幅は物価上昇に追いついていない。そこで、生活支援対策を行う必要があると考え、以下に伺う。

- 1 キャッシュレスクーポンキャンペーン事業を三島市民のみ対象に行うことができないか。
- 2 デジタル商品券（しづトク商品券・長泉町QUOカードPay・つくばみらい市デジタルギフト）について見解を伺う。
- 3 学校給食無償化に向けて、国の動向を踏まえ三島市はどうするか。
- 4 寝たきり高齢者等紙おむつ給付事業において給付条件緩和を求めるが、いかがか。

## 質問事項2 ふるさと納税

具体的な内容 令和7年度にふるさと納税の寄附額を前年から倍増の7億円とさせることを目標に新たな体制でスタートした。需要のメインは12月になると思うが目標達成への途中経過を伺う。

- 1 返礼品の数について三島市は330件となっている。件数は増やすのか。
- 2 令和7年10月でポータルサイトのポイント廃止の制度変更があったが、9月の駆け込み件数はどのくらいか。
- 3 京都市は老舗監修のおせちが増えている、2023年度は全国で10位に入っていると聞く。たとえば12月からお正月にかけて何を訴求していくかなどの強化ポイントを伺う。
- 4 コト消費、いわゆる体験型返礼品は有効か。

## 質問事項3 官民連携

具体的な内容 御殿場市のプレミアムアウトレットで「空飛ぶくるま」の運行にむけた準備が本格化している。

5月に離着陸場を設け10月30日にデモ飛行を行った。また、長泉町ではAIオンデマンド交通の実証実験を行っている。官民連携で三島市で民間に事業を実施していただけるようにしていくことが求められると思う。新しい取り組みについて伺う。

- 1 御殿場プレミアムアウトレットを運営する三菱地所は2028年度に空飛ぶくるまの運行サービス開始を目指していて県内の運行ルートはウーブンシティ、富士スピードウェイなどを想定している。このルートの中に三島駅が組み込めないかと考えるが、連携できないか。
- 2 ネーミングライツで三島駅南口に和風トイレの設置を行えないか。
- 3 介護タクシーの利用のハードルを下げたい。予約配車アプリを始めた会社やドラッグストアが介護タクシー事業を開始している。民間に三島市で事業を始めていただけるよう連携ができるか。

# 一般質問発言通告書

発言順位 9番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年 11月 26日  
三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 2番 沈 久美

質問事項1 令和7年三島大祭りの振り返りと今後について

具体的な内容 三島大祭りは三島大社を中心に、近隣の神社、自治会、観光協会、商工会議所ほか各種団体、そして三島市が一体となってつくり上げてきた誇るべき伝統文化です。例年、50万人を超える来訪者でにぎわい、市内経済にも大きく寄与する本市の「顔」とも言うべき一大イベントであり、その維持と発展のため、毎年熱心にご尽力いただいている関係者の皆さんに、まず敬意を表します。規模が大きく、市民・近隣住民はもとより、交流人口、関係人口と呼ばれる方々、移住を検討中の方々にも関心が高い行事であり、万全の安全対策が求められています。

伝統を守りながらも、次の世代に安心して引き継げる祭りとするために、今一度、本年の様子をふまえ、運営体制・安全対策の総点検として伺います。

## 1 本年三島大祭りの総括

天候・集客数・参加人数・救急搬送事例数等といった客観的データ（昨年比較・推移）、新たな取り組みがあればその内容と成果、市民の声、課題等。及び新聞記事にもなったけが人発生の件について

## 2 熱中症対策・危機管理

本年実施の具体的な取り組み、企業・民間団体との連携、新規マニュアル作成、日程等

## 3 最終日の夜、大社境内にて実施された「第2回大盆踊り大会」の成果と展望

質問事項2 空き家の適正管理と発生予防を進めるための仕組みづくり

具体的な内容 空き家問題は、全国的には毎年東京23区の面積に匹敵する空き家が増え続けているとも言われ、放置の影響は地域の暮らしを揺るがす深刻な問題であると認識されています。空き家の多くは老朽建物ですが、その背景には個人の生活が深く関わっています。合理性ではないかと思われる個人資産という特質を踏まえた課題解決が必要と考えます。

経済建設委員会では、視察先に空き家対策の先進地・東近江市を選定。議会報告会でも空き家対策を取り上げました。今回は、主にその報告会で実際に寄せられた市民認識・ご意見を生の声としてダイレクトに投げかける形をもって、本市の空き家対策の現状と今後について伺います。

## 1 実態の把握と所有者意思確認の取り組み

(1) 空き家戸数や空き家率等、公表データと市民感覚との差異について

(2) 所有者が遠方にある等、連絡先特定困難ケースへの対応、意思確認のプロセス

## 2 適切に管理されていない空き家への対応（特定／管理不全の区別と対応の違い、認定基準）

## 3 相談窓口・使いやすい空き家バンク・情報発信体制の整備について

(1) 寄せられた相談窓口へのニーズ、および利便性の高い空き家バンクの整備について

(2) 市民への情報提供強化の取り組みについて

(3) 現行法や地方税法上の「限界」と「所有者意識」について

(4) 空き家の放置期間に応じた課税措置や地方税法の不適合など、法改正は必要なのか

(5) 合理性ではないかと思われる所有者意識への向き合い方に関する見解

# 一般質問発言通告書

発言順位 10 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年11月26日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 10番 河野 月江

質問事項1 国民健康保険ーすべての加入者の受療権を守りぬくことを求めて

具体的な内容 令和5年6月9日にマイナンバー法が改正され、紙の保険証の廃止が決められたことに伴い、従来国民健康保険税の滞納者に発行されていた短期保険証も廃止されることとなった。また、旧国保法に置かれていた、1年以上の滞納者に「保険証」の返還を義務付ける規定もなくなった。従来の「10割負担」のペナルティが、今後は、マイナ保険証を使う人、資格確認書を使う人それぞれにどのように科せられていくのかを確認しつつ、厚労省発出の通知（令和6年9月20日、令和7年10月17日）に示される滞納者に寄り添った対応に、市はどう取り組んでいくのか伺う。

- 1 加入者におけるマイナ保険証の保有率、利用率
- 2 1年以上の滞納者を「特別療養費の支給」（全額一時負担・後日一部償還）に切り替える方法
- 3 「特別療養費の支給」に切り替えるまでの留意点と、切り替えるべきでない「特別な事情」
- 4 「特別療養費の支給」対象者から、“医療を必要とし、医療費の一時払いが困難である”旨の申し出が行われた場合に関する市の対応について

質問事項2 三島駅南口東街区再開発事業について

具体的な内容 本事業の工事は現在、駐車場棟の躯体工事がすすんでいる。この10月県に3度目の認可を受けた事業計画における資金計画は、工事費が238億円（当初計画より+67億円）、再開発補助金が103億円（当初計画より+19億円）、総事業費が287億円（当初計画より+78億円）となり、市の負担額は補助金34億円+立体駐車場取得額約9.6億円、計43.6億円となっている。新庁舎事業で議論されている事業費（100億円）の43%に匹敵する支出である。

一方、導入施設についてはまだ詳細が明らかにされていない中、この7月、担当課から民間保育園長会に対し「再開発区域のB棟3階に40坪の保育園を開園し」「保育園と親和性の高い子育て関連の機能導入の検討が進められている」旨、説明があったと聞いている。

これらに関連して以下について伺う。

- 1 令和8年度は補助金総額の実に41%を支出する計画であるが、市の財政や、住民福祉向上のための他事業に与える影響について。
- 2 B棟3階フロアの所有と運用はどのような計画で進んでいるのか。
- 3 市内の事業所が運営する保育ステーションを整備する可能性は残されているのか。

質問事項3 有機資材（堆肥）活用の循環型農業で野菜園芸を支える酪農家への支援充実を

具体的な内容 令和5年度の三島市内の農業産出額は約49億6千万円で、うち耕種（土地を耕し作物を栽培）は7割、畜産は3割となっている。畜産農家は、牛、豚、鶏等を飼育し食肉、牛乳、卵などを生産するとともに、副産物である家畜ふんを堆肥にして、耕種農業、とりわけ三島ではその8割の産出額を占める野菜（根菜・葉菜・果菜）園芸を支えている。今回は現在7つの経営体が営んでいる酪農について、支援の充実を求めて伺う。

- 1 第5次総合計画の農業施策における「畜産の振興」で、取り組みと実績はどうだったか。
- 2 畜産農家がつくる堆肥の市内での需要状況はどうか。
- 3 市内において酪農家が果たしている役割をどうとらえているか。
- 4 物価高騰のもと餌、資機材、運搬機などの価格も高騰しているが、市独自の支援策を具体化できないか。
- 5 酪農家の後継者の状況、理由、対策について。

# 一般質問発言通告書

発言順位 11 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 7年 11月 26日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 18 番

横山 雅人

## 質問事項1 市営墓地について

具体的な内容 三島墓園は眺めがよく、車でお墓の近くまで行くことができ、宗教不問で廉価で購入できるよい墓園と思っています。その三島墓園に行く機会があるのですが、最近区画の空きが気になっています。将来的に墓を継ぐ人がいない継承者の不在、高齢化により管理や掃除が難しくなることへの不安、永代供養や樹木葬など、管理の負担が少ない新たな供養方法が選ばれるようになる等「墓じまい」が増加していると聞きます。そこで三島墓園の現状、管理、運営、今後について伺ってまいります。

- 1 現在、三島墓園の墓所基数は731区画と思いますが、空き状況と募集状況はどのような状況か。
- 2 現在の墓園管理料は年間5,650円と思うが、納入方法とそれぞれの納入状況について伺う。
- 3 墓所を購入後、使用されていない区画も見受けられる。その多くの区画が荒れているように思うが、管理はどのようにしているのか。
- 4 現在の墓園全体の草刈り等の維持管理の頻度や内容について伺う。
- 5 市民のニーズの把握のため、平成20年度と24年度にアンケート調査を実施しているが、その後のアンケート調査は行っているのか。その分析状況はいかがか。
- 6 平成27年11月定例会において堀江議員が納骨堂について質問をされています。納骨堂の整備計画と費用及び今後のスケジュールについて答弁がありました。その後の納骨堂の計画はいかがでしょうか。

## 質問事項2 長伏公園大型遊具の供用に向けて

具体的な内容 今年9月の定例会で長伏公園再整備計画の全体計画、進捗、大型遊具がどのような遊具かを質問しました。現地は着々と工事が進んでおり、形が見えてきて楽しみであります。今回は来年4月末予定の供用開始に向けて具体的に伺います。

- 1 3基の遊具ですが、63アイテムからなるとのことでした。湧水をイメージしたゴムチップもあります。紫外線での劣化や色あせ、供用開始後のこの3基の遊具の維持管理費用をどのように試算されているのか、具体的にどのアイテムにどのくらいの維持費が試算されているのか、また、部品交換等に要する日数（利用休止が必要になるのか）を伺います。
- 2 完成後は大型遊具を始め、施設について管理業務委託をされると思いますが、基本的にスタッフが常駐されるのか伺います。  
また、地域の老人会などの方々に花壇の手入れや掃除等を依頼したら双方がWINWINの関係で地元にも愛着の湧く効果があると思いますが、声かけはしていますか。
- 3 シンボルとなる10メートルの大型タワー、約40メートルのローラースライダー、約20メートルのターザンロープ等が設置の予定となっています。これだけの大型遊具となりますと事故やケガが心配になってしまいます。事故やケガの対応はどのようにお考えでしょうか。（緊急通報ボタン、AED設置等）また、怪我等における保険対応はどのようになるのか伺います。

# 一般質問発言通告書

発言順位 12 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 7年11月26日  
三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 8番 弓場 重明

## 質問事項1 新市庁舎建設予定地について

具体的な内容 位置条例の結果如何によるが、まずは南二日町広場の場合について伺う。

- 1 三島市洪水ハザードマップ(令和元年9月発行)と国土地理院の「重ねるハザードマップ」(令和7年3月発行)。三島市としては、危機管理上のリスクをどの程度考えているのか伺う。
- 2 1000年に1度と言う三島市のデータはいつどこで出されたのか、その根拠を改めて伺う。
- 3 最大規模の降雨があった場合、約1.4mの浸水が想定されている。新庁舎敷地は嵩上げをするとあるが、その溢れた水はどこに流れていくのか伺う。状況によっては周辺が洪水に見舞われ、身も蓋もない状況に陥るのではないかと危惧する。
- 4 位置条例決定後、工事着工前か着工後に大場川に洪水が発生した場合、場所を変更することは有るのか伺う。

## 質問事項2 地縁団体である自治会・町内会(以下自治会という)等について

具体的な内容 地縁団体である自治会等任意団体の今後のあり方について伺う。

現在、自治会等における役員の皆さんのご苦労というか、行政からの依頼による業務量は依然多く以前とほとんど変わっていないと思われる。それに加えて、高齢化に伴い役員を選考することがなかなか困難になってきている現状である。

- 1 今現在、三島市内における自治会の数とその規模、三島市が依頼している業務量とその負担金がどの程度あるのか伺う。
- 2 今現在、各自治会の会長及び役員の任期について伺う。(1年から数年、平均値)
- 3 提案ですが、各自治会に事務局制度を取り入れた場合、三島市として支援をしていく考えはあるのかを伺う。
- 4 老人クラブと三島市との関わりについて伺う。

## 質問事項3 道路交通法の各種表示について

具体的な内容 本来、歩道を歩いたり車を運転する場合等、道路交通法を遵守すれば防げる事故は多い。

しかしながら、多くの理由で事故が無くならないのも現実である。  
特に、夕暮れ時に発生する交通事故が少なからず見受けられるのが残念である。  
時には地域の皆さんから、一旦停止標識等の交通標識、交通信号、横断歩道や道路面の白線表示等、道路交通法の各種表示について要望を受けることがある。そこで伺う。

- 1 道路交通法における各種表示の中で、静岡県警と三島市の管轄の範囲を伺う。
- 2 白線表示について静岡県警と三島市の管轄の範囲を伺う。
- 3 白線が薄い場合や交通標識も夜間など周りが暗いと大変見にくい。静岡県警の管轄範囲の場合は静岡県警に直接要望するのか。それとも三島市を通して要望する事が出来るのか伺う。

# 一般質問発言通告書

発言順位 13 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 7年 11月 26日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 16番 永田 裕二

## 質問事項1 人材戦略としての兼業・副業について

具体的な内容 三島市内においても民間の人材不足の声が聞かれる。多様な働き方の確保が人材不足だけでなくスキルアップや地域の課題解決にも貢献できるものと考える。公務員においても静岡県庁LGX型兼業が知事から発表されるなど、民間営利企業での就業範囲の拡充が進み始めている。三島市における人材戦略としての兼業・副業について、見解と展望を伺う。

- 1 市職員の兼業・副業の現状
- 2 市職員の兼業・副業に対する認識と評価
- 3 他自治体との比較
- 4 民間企業・市内事業者への支援
  - (1) 「地域の人事部」に関して
  - (2) 「こちら三島の人事部」に関して
- 5 制度整備・働き方改革について
  - (1) 庁内での働き方改革との整合性
  - (2) 庁内での兼業・副業ガイドラインの策定

## 質問事項2 職員の被服改革

具体的な内容 職員のユニフォームを通じて、三島の魅力発信、職員のモチベーション向上、時代の変化に対応した働き方の推進など、多様な目的を実現する為、市の職員が職務上着用しなければならない被服として防災服や作業着等があるが、それぞれの果たすべき要件や機能について確認し、よりデザインや機能性に優れたユニフォームを採用することについての可能性を伺う。

また、窓口業務時の服装などについて、市民サービスの向上や、シビックプライド向上につなげる提案についての見解を伺う。

- 1 被服貸与の現状
- 2 作業服と防災服について
- 3 窓口業務にあたる職員の被服について

## 質問事項3 伝統文化としての「しゃぎり」への理解促進策

具体的な内容 近年、転入者が増える中で、伝統文化や音に対する理解不足が課題と感じている。一方で、三島の“しゃぎり”は三島のアイデンティティでもあり、転入者向けパンフレットなどで地域文化を紹介することにより、理解促進と参加のきっかけづくりができるのではと考えるが、現状と可能性を伺う。

- 1 転入者向けなどしゃぎりの情報の共有と発信の現状
- 2 伝統文化としてのしゃぎりについての認識・方針
- 3 具体的な理解促進策
- 4 伝統文化としてのしゃぎりに関する市の体制について

# 一般質問発言通告書

発言順位 14 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 7年 11月 26日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 9番 服部 正平

## 質問事項1 政府における総合経済対策を受けての当市の対応について

具体的な内容 市財源の主は直接市が徴収する自主財源、国・県からの交付金である依存財源である。その財源比率は依存財源が5割を越えている。市は現在来年度予算編成に注力している中、11月21日高市新政権の下、政府は新たな総合経済対策と称し総額21.3兆円規模を閣議決定した。

その柱は「物価高対策（減税分含め）」11.7兆円。「危機管理投資・成長投資」7.2兆円程度。「防衛力の強化」1.7兆円程度。これらをもって強い経済を作るために戦略的な財政出動を行うとした。これら基本とした補正予算案は現状の政局から見れば政府案は通過する見通しで、首相の「重点支援地方交付金を拡充（2兆円）いたします」との言葉通りとして受け止めるべきであるか、特段今回の3本の柱は従来の柱とは大きく違う分野として防衛費の増額が突出しています。

政府が明らかにした「積極財政」は当市にどれほど有益であるか、またそれを受け当市は先手で補正予算を今定例会に上程しました。今後は国の交付金額において新たな補正予算、来年度予算を検討される事から、現時点での交付金の運用についてどのように考え、対応されるか確認をします。

- 1 「重点支援地方交付金」総額をどの程度市は見込み、具体的歳出事業は何であるか。
- 2 国が示した「ガソリン税の暫定税率廃止」が与える市財政への影響について。
- 3 診療報酬・介護報酬の引き上げ、中小企業・小規模事業者、農林水産業の支援の引き上げによる当市の想定される事業内容について。
- 4 国防を強調する首相の予算・行政執行における当市（他国関係、観光、教育）への影響について懸念すべき点について。

## 質問事項2 市が拠出する補助金の運用について

具体的な内容 個人・世帯への生活援助。各団体の活動を通じ地域のつながりを深め高め、市民の「幸福度」の向上に資する活動。また、市の活性化に向けた事業支援と幅広く支えるため、数多くの補助金制度を当市は実施している。

しかし、その補助金の使途において不適切使用との監査からの指導により補助金の返還にあたっての協議がされているところである。

年間200件を超える補助事業が毎年ある中、予算にもらみつつ整理されているところではあるが、改めて補助金対象とする事業の管理運営について伺う。

- 1 補助事業とすべき事業として認定する判断と申請ルールについて。
- 2 補助金の交付目的、根拠、効果・成果を客観的に評価。制度の妥当性の検証について。
  - (1) 補助金の申請後採択された事業が適切に行われた事を確認する為の補助効果の客観的検証を行う「規準」・「審査」方法について。
  - (2) 既得権化の防止の点からの長期継続補助金の検証と終期の明確化について。
- 3 補助金の公平性を保持するうえでの財政的自立などの様に対応しているか。

# 一般質問発言通告書

発言順位 15 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年11月26日  
三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 11番 甲斐 幸博

## 質問事項1 地域の公共交通を取り巻く現状と課題について

具体的な内容 高齢化が進む中、通院や買物など日常生活における「移動」の問題が深刻化しています。特に、運転免許の自主返納の動きが進展する一方、自主返納後の移動手段に対する不安の声や、自主返納をためらう声もあります。

また、公共交通事業者の現状は、長期的な利用者の減少、コロナの影響による急激な落ち込みもあり、公共交通事業者の経営環境は悪化、コロナ後も利用者数がコロナ以前の水準までには回復していない状況となっています。

人手不足が深刻化、人手不足を要因とする路線バスの休廃止などの動きが拡大しています。

そこで、三島市内の交通空白地域の課題や問題点について伺う。

- 現在三島市内に交通空白地域はあるのか、交通空白地域とはどのような地域なのか。
- 交通空白地域などの課題や問題点の対策をどのように行ってきたのか。
- 交通空白地域などに対し、行政と地域で協力し課題解決のためのシステムづくりができるいか。

## 質問事項2 高齢者支援について

具体的な内容 高齢化が急速に進んでいます。配偶者と死別したり、子どもと疎遠で別居している方など、1人で暮らしていく不安のある高齢者が増えています。

静岡市が、「エンディングプラン・サポート」事業を11月から始めました。この事業は頼れる親族がない高齢者の終活を市が支援する事業ですが、市の基準を満たす事業者を「終活支援優良業者」として認証し、市が紹介しています。

このような取り組みを三島市でも検討できないか、また、三島市で行っている、70歳以上の市民の外出を支援するため、「高齢者バス等利用券」についての課題・問題点についても伺う。

- 静岡市が取り組んでいる「エンディングプラン・サポート」を本市でも検討できないか。
- 助成券を配布している年代別人数、及び、年代別年間使用状況はどうか。
- 助成券を使用している方々からの改善要望はあるか。要望に対する対策は行っているか。
- 自家用車を使用していない高齢者に、厚い手当ではできないか。
- 障がいの方や、1人では外出できない方に対して厚い手当ではできないか。

## 質問事項3 小中学生不登校について

具体的な内容 文部科学省は、2024年度の問題行動・不登校調査の結果を発表しました。

国公私立の小中学校で年間30日以上欠席した、不登校の児童生徒は12年連続で増え、全体の3.9%（26人に1人）に当たる、35万3970人と過去最多を更新しました。

静岡県教育委員会は本年度、自己管理や他者との関係を築く力など、社会情動的スキルを伸ばすプログラムを策定する予定で、小中学校での普及に取り組む方針を出しています。

三島市教育委員会としても、不登校に対して全力で対策を行ってきましたが、今回の文部科学省が公表しているように、12年連続で不登校の児童が増加しています。課題・問題点について伺う。

- 三島市の公立小中学校の不登校の状況はどのようにになっているのか。
- 三島市教育委員会が行っている不登校に対する対策はどのように行っているのか。
- 学校外の学びの場を含めた、今後の支援の在り方について市の考えはどうか。

# 一般質問発言通告書

発言順位 16 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 7年 11月 26日  
三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 19 番 野村 諒子

## 質問事項1 過去の取り組み事例から学ぶ、失敗しないための中心市街地活性化とは

具体的な内容 過去の記録によりますと、大社町地区では電線類地中化と合わせて道路整備と交通の見直しを行い、一方通行の道路にすることで商店街の活性化を進めてきました。本来なら別々に議論すべきことを一緒に推し進めることで時間と労力を省くことにつながりますが、ともすると重要な視点を市民に十分説明しないまま判断を委ねることにもなりかねません。大社に向かう旧下田街道の賑わいと、活性化は達成できているのでしょうか。今、新庁舎整備に伴い、中心市街地の活性化が議論されています。本来であれば、市役所がどこにどうあるべきという議論と、跡地利用も含めての中心市街地の活性化はどちらも重要な取り組みであり、一緒にして判断を迫るようなものではないと考えます。旧下田街道の取り組み事例からしっかりと学び、今後の三島市のまちづくりの方向性を誤らない為に、慎重な議論を積み重ね、市民の理解を得ることが必要です。三島市の中心市街地活性化についての考えを伺います。

- 1 旧下田街道の現状をどう考えるか。
- 2 新庁舎整備と同時に議論されている跡地利用を急ぐ理由は何か。
- 3 中心市街地のサウンディング調査は、あくまで「こうなった場合は?」という予測に過ぎないと考えるが、それでよいか。
- 4 人口減少社会に対応できるよう跡地を市有地として活用する考えはあるか。
- 5 人口減少が確実に進んでいる中で中心市街地の活性化とはどういう状態のことか、伺う。
- 6 南二日町が整備地となった場合、市役所本庁舎跡地に建設される施設は、現状以上の賑わいをもたらすものとなるか、具体的な計画案はどのようなものか。

## 質問事項2 「菊のまち三島」を観光の目玉にできないか

具体的な内容 「平安神宮」をテーマとする第73回楽寿園菊まつりが今年も開催され、多くの市民及び観光客が楽寿園内の菊を見に訪れていました。菊まつりでは、東海菊花大会も同時に開催され、今年も大菊をはじめとする見事に育てた菊が数多く展示されて、他の市町にない質の高い展示会場となっていました。

楽寿園菊まつりは楽寿園が開園された年より始まり、当初は菊人形なども展示され今以上の展示会の出品数もあったようです。当時から73年という歴史を積み重ねてきたことは、三島市にとって貴重な歴史と文化の積み重ねとなり、これからも守っていくべき大事な事業であると思います。

しかし、近年は菊栽培をする愛好家の皆さんのが高齢化も進み、このままではうまく引き継いでいくことが難しい状況も出てきています。

そこで、この歴史ある三島市の菊まつりを再度、近隣市町にない価値あるまつりとして強化し、楽寿園内だけでなく三島市内全域で菊栽培を推奨し、菊文化を三島市の価値ある文化として観光の目玉にして取り組めないか、伺います。

- 1 菊まつりの73年の歴史をどのように評価し、現状をどう分析しているか伺う。
- 2 近年、花の栽培で観光名所となっている地域が増えてきている現状をどう考えるか。
- 3 菊まつりとガーデンシティとの一体的な取り組みはできないか。
- 4 楽寿園菊祭りと同時に「菊のまち三島」「三島菊まつり」として、全国的な観光名所となるような取り組みはできないか伺う。